

# 学校法人福岡保健学院 学校関係者評価

評価実施日 平成29年3月29日

下関看護リハビリテーション学校 理学療法学科

大項目	評価項目	自己点検・自己評価総括	総合評価	課題及び課題解決に向けた提案
教育理念・目的・人材育成	学校の教育理念・目的・人材育成像が定められているか？	基本理念「人間愛と自己実現」、理学療法学科教育方針「愛・誠実・夢」	3.7	教育理念に基づき教育活動が行われているが、学生にそれを理解浸透させることが重要である。そのためには、教職員の一貫した取り組みが必要である。
	学校の理念・目的・人材育成像など学生及び保護者、学校関係者に周知されているか？	基本理念である「人間愛と自己実現」、教育方針の「愛・誠実・夢」をパンフレットやオープンキャンパス説明時にも教育理念や人材育成像などを伝達している。また入学時のオリエンテーションや保護者説明会などでも再度の説明を行い、求められる人材像への意識を高めてもらっている。しかし、学生に正しく周知できているかどうか随時確認していく必要がある。		
	各学科の教育理念・目的・人材育成像は医療・福祉のニーズに方向づけられているか？	学校の教育理念に基づき、学科でも管理目標を設けている。また、学年ごとに担任を中心としてクラス目標を掲げ求める人材への教育を行っている。		
学校運営	目的に沿った運営方針、事業計画が策定されているか？		3.6	現状に即した事業計画を作成し、教職員への周知を図る努力がされている。組織が大きくなると意思決定システムが見えにくくなるので、全職員が事業計画を理解し学校運営に当たることが重要となる。 情報システムについては、IT化は十分ではなく、学生と教員とのコミュニケーションツールの検討が望まれる。
	運営組織や意思決定機能が規則等において明確にされているか？			
	情報システム化等による業務の効率化がはかられているか？	講義変更などは学内掲示のみでなく、学生専用HP上で閲覧できるようになっている。学事システムを活用して学生情報を管理し業務の効率化を図っている。		
教育活動	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか？	社会に貢献できる人材育成のため、理学療法士養成の5校で協働して教育課程編成を行い、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーも共有している。	3.9	学生の授業評価アンケートから授業改善するシステムが必要。また、教育力アップのため教員間の授業評価も重要。 教育課程編成については、教員全体への周知が必要である。
	職業実践教育の視点に立ったカリキュラム・教育方法の工夫・開発が行われているか？	なお、詳細部分の教員への周知・徹底、ならびに講師や実習指導者の意見を含めた到達レベルの設定・教授内容の検討は、ファカルティ・ディベロップメント（FD）を念頭により積極的に進めていく必要がある。		
	医療・福祉における職業実践教育が体系的に位置づけられているか？	職業実践教育は、医療・福祉施設の協力のもと段階的な実習を取り入れ、実習の進め方、指導法、評価まで、法人独自に工夫、開発したもので行っている。		
	授業評価の実施体制はあるか？	授業評価は、前後期の終了時毎に授業評価アンケートを実施して、5校の結果を分析し問題の共有を図る。 教育力向上については、教育研究大会や学会等の参加を促すとともに、法人でリハビリテーション5校合同での教育研修も年2回実施している。今後は、FDとしての教育力向上や授業改革に向けた組織的・実践的な、体系化した取り組みが望まれる。		
	教育力向上のための研修等が実施されているか？			

大項目	評価項目	自己点検・自己評価総括	総合評価	課題及び課題解決に向けた提案
学生指導	学生相談及び就職相談に関する体制が整備されているか？	クラス担任を中心に随時学生面談を実施している。また必要に応じてスクールカウンセラーと連携して学生の心理面へのサポートを行っている。学校生活で悩みを抱える学生も多いため、スクールカウンセラー設置についての告知を強化していく必要がある。就職相談についても担当者を設け担任とともにセミナーや説明会など就職活動支援を行っている。また関連校と連携して求人情報の共有化を行っている。	3.7	最近ではメンタル面の弱い学生が増えてきている。カウンセラー体制の検討や教員が一体となり相談しやすい体制作りを行い学生の心身の不調に対して早急な察知や対応ができるように努めてほしい。
	学生の生活指導及び安全管理に関する体制が整備されているか？	本校入学後の学校生活状況については出身高校へ随時就学状況報告を行っている。また、学校生活において遅刻・欠席があるなど課題が生じた際にはすぐに保護者へ連絡を行い、保護者とともに学生を支援していく体制をとっている。夏と冬の年に2回は定期的な保護者会を開催している。		
	高校や保護者と連携した取り組みが行われているか？			
学修成果	就職率が良好であるか？	外部講師を招いての就職活動セミナーの開催や姉妹校と合同の就職説明会を実施する等就職に向けての取り組みをしている。就職率は開校以来100%となっており、平成28年度は3月末時点で進学予定者1名を除き全員が内定を受け4月から就業している。 1年次より学習支援として、時間外に学習時間の確保を行っている。しかし学習することへの目的意欲が不十分なまま、取り組み内容の結果が伴わない学生もいる。必要に応じて担任面談を実施し、学習意欲の低下という理由から退学に至らないようにしている。また心理的な問題から学習意欲低迷につながっている学生へはカウンセラーの利用を促すなど早めに対応できるように学生の学習状況把握に努めている。	3.7	1年時より学習支援を行い、退学・留年の低減及び国家試験合格に向けた取り組みが実施されている。国家試験合格率及び就職率は良好であるが、退学率・留年率の課題は残る。退学の理由を検証し教育活動に反映させる必要がある。また、初年次教育の在り方については、今後とも検討していくことが重要。 卒業生への支援は個別的には実施されているが、卒業後等についても今後検討してほしい。
	退学率・留年率の低減しているか？	国家試験対策は関連校との情報共有を図りながら計画的に進めている。合格率100%を目標に成績低迷学生を早めに洗い出し、教員による個別指導も昨年より多く取り入れ学生個々に合った学習方法を行う。		
	国家試験合格率が良好であるか？	関連病院に勤務している卒業生に、在校生へ理学療法士として働くことの講義を行ってもらった。しかし卒業生の状況把握は十分できていない状況であるため、就職先施設との連携も含めて情報収集や卒業後教育などを検討していく必要性あり。		
	卒業生の社会での活躍を評価し、教育活動の改善に活用されているか？			
教育環境	学内の教材及び教育環境改善に向けた取り組みが行われているか？	開校して13年が経っており校内外さまざまな個所の補修が必要になっている。学生寮も含めて数回にわたって補修工事を実施した。教材に関しては模型の追加購入を行った。引き続き必要な個所の補修や教材の検討を行っていく。	3.7	教育環境は特に臨床実習環境改善が図られているが、教材の充実が必要。最近、イメージ力の弱い学生も多いため模型や視覚教材などイメージを喚起しやすい教材を増やしてはどうか。 防災については、防火訓練が主体であり、学生に防災意識を喚起するような教育も必要だと思う。
	臨床実習における環境改善の取組が行われているか？			
	防災に関する体制が整備されているか？	今年度は防火管理者が変更したが、年に2回の防災訓練を実施し、防災備品の点検も行っている。今後は書類管理など災害時の状況も踏まえて整理整頓を心がけていく必要がある。		

大項目	評価項目	自己点検・自己評価総括	総合評価	課題及び課題解決に向けた提案
学生募集	高等学校等に対し適切な情報提供が行われているか？	入学試験において複数の減額制度を設けている。また特待生制度もあり、意欲的に学ぶ学生への就学支援も行っている。	4	適正な募集活動が行われている。少子化により学生数減少に伴い学生確保が困難になることが予想されるため、専門職の魅力及び学校の魅力を適切に学生に伝える方法の検討が望まれる。
	資格取得・就職状況等の情報を正確に伝えているか？			
	修学支援制度があるか？			
財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか？	毎年、事業計画に基づき予算・収支計画が作成され、財政基盤は安定している。しかしながら、18歳人口の減少や他校との競合の中で、学生募集に影響が出てきている状況には対策が求められる。 学校法人本部と各学校においては財務の2重体制をとっており、学校の財務体制管理がダブルチェックで適正に行われている。また、決算及び予算について理事会で承認されており、会計監査も適正に実施されている。	4	適正かつ健全に運営されている。
	予算・収支計画は妥当であるか？			
	会計監査は適切に実施されているか？			
法令遵守	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか？	法令遵守は、学校ごとに、また法人全体でも統一して取り組んでいる。主なものは、①自己点検自己評価②学校基礎調査③専修学校各種学校評価④学校施設認定規則に基づく報告など。これらの機会に調査、チェックを行い、適正な運営を行っている。  個人情報保護に関しても法人で統一した規定を設けており、教職員及び外部講師、学生が遵守すべき事項が定められている。とくに、臨床実習における対象者ならびに医療機関、および学生の個人情報保護についても、書面の取り交わしや口頭での周知、SNSの取り扱いも含めた指導を徹底している。	4	法令遵守は適切に行われている。その結果を公表していくことで、学生にとってもコンプライアンスの重要性を示すことにつながると思う。
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか？			
社会貢献・地域貢献	学校施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか？	障がい者社会生活の貢献のため、就労支援事業所に昼食販売を委託している。週末や夕方の時間を中心に学内を研修施設として他団体などに開放している。 学生にはボランティア活動において対人技術を身につけることや社会貢献することの意味、医療人としての見識が深まることを目的として参加を推奨している。地域の清掃活動や障害者スポーツ・海峡マラソンなどに複数名の学生が参加している。今後もボランティアの意味づけを強化し参加を促していく。	3.3	医療人の資質として社会貢献・地域貢献は必要なものであり、学生時代の経験は貴重なものである。ボランティア等の推奨だけでなく、その参加学生などの実績を含め学校として把握したほうが望ましいと思う。またボランティア活動への学校の支援体制も検討してほしい。
	学生のボランティア活動を推奨、支援しているか？			